

発行日：令和4年10月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001

葉栗連区の人口と世帯数 <2022.9.1 現在> 人口 16,373人（男 7,993人 女 8,380人） 世帯数 6,819世帯

☆ 10月2日（日）の葉栗連区町民運動会は『中止』となりました ☆

今年度、町民運動会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大により、開催を中止することになりました。

三年ぶりの開催を楽しみにしていただいたことと存じますが、ご理解くださいますようお願いいたします。
《葉栗公民館》

☆ 元気はつらつ鮎つかみ大会 ☆



8月20日（土）、学校外活動事業の一環として、葉栗小学校、葉栗北小学校で鮎つかみ大会が三年ぶりに開催されました。

日頃は生きた魚を捕まえることはほとんどなく、泳いでいる鮎を悪戦苦闘しながら捕まえていました。

中には、簡易プールから逃げ出す元気な鮎もあり、にぎやかな子供の声の中、楽しいひと時を過ごすことができました。食卓には鮎の塩焼きがあったでしょうか。



『いちのみや市100周年+1』記念事業

☆ 11月19日（土）葉栗連区健康づくりウォーキング大会を企画 ☆

この度、葉栗連区の『いちのみや市100周年+1』記念事業として、葉栗連区地域づくり協議会、町会長会、葉栗公民館などの協力の下、光明寺公園サイクリングコースを利用して、11月19日（土）健康づくりウォーキング大会を企画しました。

コロナ対策を踏まえ、また、より多くの人に参加できるよう4kmと6kmの2コースに分けて、受付後順次出発するかたちで実施します。この機会に秋の138タワーパークで思いっきり身体を動かしてみませんか？

参加を希望される方は、10月20日までに葉栗公民館ロビーの専用投函箱に申込用紙を投函してください。

多くの方の参加をお待ちしています。



前回(2019.5)のウォーキング大会

☆ 君もサバイバルマスターになろう！！『ウォーター編』 ☆

8月28日（日）、災害時の水の確保について考える「72H サバイバルマスター」講座が138タワーパークで開催されました。

講座の最初に講師から「災害時に必要なものは何か？」「その中で命をつなぐためには、何を優先するのか？」との問いに、参加者は思い思いの意見を出し、その結果、「空気」「シェルター」「ウォーター」「火」「食べ物」の順序を導きました。

今回の「ウォーター」の講座は、災害時、泥水のろ過で飲料水が手に入るのかを検証しました。

参加した児童らは、切り取ったペットボトルに砂利や砂、活性炭、ティッシュを自分たちが考えた順に詰め、手作りのろ過装置を作り、ろ過を試しましたが、飲料水としては適さないことを理解しました。



何回もろ過すれば水は透明になりますが、雑菌などは取り除けず、川の水も同じことで、実際は飲める水は簡単には手に入らない事も学びました。

災害時には飲料用以外にも生活のために水が必要なことを学びました。参加した親からは、「普段から水を備え、簡易トイレなどの水を使わない工夫を家族で話し合い、周りの人とも協力することの必要性が理解できた」と話していました。水の確保の難しさがわかり、大変有意義な講座でした。

次回は、10月9日（日）10：00に「SOS編」を開催予定です。138タワーパークのホームページで確認してください。

（事前予約必要 138タワーパーク事務所 ☎51-7105）



災害は忘れた頃にやってくる！！

☆ 昭和34年(1959年)9月26日の伊勢湾台風到来から63年 ☆

今からさかのぼること63年前、潮岬に上陸し紀伊半島から東海地方を中心として、ほぼ全国にわたって甚大な被害を及ぼした台風が伊勢湾台風です。

最大風速75m/sを記録し、伊勢湾沿岸の愛知県、三重県の被害は、死者・行方不明5,098名、負傷者38,921名、全壊家屋36,135棟、床上浸水157,858棟に及び最悪の被害をもたらしました。

特に名古屋市南部（南区、港区）及び海部郡南部（現弥富市）は、高潮により海岸堤防が破壊されたため、堤防を完全に作り直す作業が始まり、そのために当時の葉栗小学校の校庭に北海道恵庭市にある自衛隊が駐屯し、木曾川の石を運搬して堤防づくりの復旧活動が行われました。



伊勢湾台風被害の救援活動のため自衛隊が葉栗小にやってきた。

☆地震や自然災害に備えて☆



※飲料水

一人1日3リットルの水を4日間分
一宮市保存水「おりひめの水」500mlなら
1ケース分（24本入）

※食料品

ご飯（アルファ米一人5食）・飴・チョコレート・乾パンなど一人最低3日間分を備蓄

《参照：総務省消防局HP》